

県西部地域の ものづくり 企業のための 支援施策ガイド

活用
事例付



公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構は
産業支援のコンシェルジュです。
未来を拓く中小企業を応援します。



公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場2-7-1
浜松商工会議所会館8階
TEL:053-489-8111 FAX:053-450-2100
E-mail:info@hai.or.jp
<https://www.hai.or.jp/>

2020年4月発行



中小企業に対する補助金制度等の支援情報を毎月2回無料で配信しています。
是非ご登録ください▶ <https://www.hai.or.jp/mailmaga/>





ひら 未来を拓く、 がんばる中小企業を 応援します。

浜松地域イノベーション推進機構は、浜松地域の中核的・総合的な産業支援機関として、中小企業に対する産業支援施策に取り組んでいます。支援地域は県西部エリアを基本とし、当財団が産業支援のコンシェルジュとしての役割を担いながら、産学官金を連携させ、地域全体として効率的・効果的な産業支援を行うことで中小企業の発展を目指します。2020年度も地域経済の持続的な発展のため、地域における基幹産業である輸送用機器、光・電子技術の活用に対する支援を重点施策と位置づけ、「フォトンバレーセンター」「次世代自動車センター」を核として、地域中小企業がこれまで培ってきた技術力の高度化・高付加価値化による次世代産業へのシフトを推進します。さらに、成長が見込まれる産業分野への参入を促進させ、新たな成長産業の集積地を目指し、製造現場の生産性向上を目的とした産業用ロボットやIoT導入を支援するワンストップ相談窓口「スマートものづくり支援デスク」を令和2年度新設します。

■ 浜松地域の中核的・総合的な産業支援機関

■ 静岡県などが定めた「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン」の推進機関

■ 浜松市が定めた「はままつ産業イノベーション構想」の推進機関

2020年度の 重点施策

1. フォトンバレーセンター事業 ▶ A-SAP(産学官金連携イノベーション推進事業)の拡充
2. 次世代自動車センター事業 ▶ 完成車メーカー・大手部品メーカーとの技術マッチングの推進
3. 新産業創出支援事業 ▶ スマートものづくり支援デスク新設による生産性向上支援
4. ものづくり販路開拓支援事業、マッチング支援事業 ▶ 海外認証取得支援、マッチング機会の創出

■ 財団の支援活動の流れ



広域連携推進事業

静岡県西部地域の「ものづくり産業」の持続的な発展を目指し、静岡県及び県西部8市町の行政機関と連携し、人材育成事業等の施策を通じて、地域製造業者への支援体制を整えています。まずは、当財団または各市町の相談窓口へお気軽にご相談ください。※各市町の相談窓口はP10～P12参照

〈広域連携参画団体〉 静岡県、浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町

広報事業

財団のHPには、支援メニューや国・県・支援機関等の最新情報をはじめ、地域企業の情報や支援メニューを活用した成果事例等、課題を持った地域中小企業の皆様が活用しやすい内容を掲載しています。是非一度、財団HPをご覧ください。また、当財団では中小企業の広報(経済記者クラブへの投げ込みやニュースリリースの作成)に関する支援も実施しています。広報支援をご希望の企業は、当財団までご相談ください。

メールマガジン配信

支援情報や補助金制度等の最新情報を定期的に受け取りたい企業担当者様は、財団メールマガジンへご登録ください。
<https://www.hai.or.jp/mailmaga/>

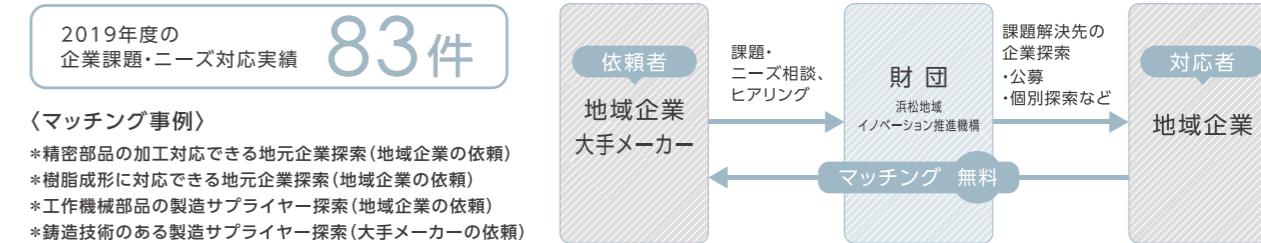


財団のマッチング支援メニュー

企業間マッチング支援

課題解決!企業間マッチングを無料サポート!

地域企業や大企業のニーズ・課題等に対して、課題解決できる地域企業を公募又は個別の案件に応じた探索を行います。また、課題解決に対する技術相談も含めた企業間マッチングを伴走型で支援いたします。財団スタッフまで、お気軽にご相談ください。



浜松地域技術商談会

輸送用機器のみならず、様々な産業の大手メーカー等が取り組んでいる技術や製品開発などで抱える課題に対して、浜松地域の優れた技術力を持つ企業(受注企業)とその技術を求めるメーカー企業(発注企業)との受発注型マッチング会を開催し、地域製造業者の販路拡大のお手伝いをします。

〈2019年度支援事例〉

■ 大成建設株式会社 〈ニーズ説明会&個別商談会〉 2019年12月6日(金)

概要(流れ)	①大成建設㈱のニーズ説明会(2019年12月6日開催)を受け、地域企業11社が技術ニーズに対する提案を実施 ②提案内容を基に大成建設㈱が地域企業11社を選出し、個別面談会を開催
エントリー企業	11社
マッチング成果	11社(協業に向け検討中)

■ 日立建機株式会社 土浦工場 〈技術展示商談会〉 2019年10月25日(金)

概要(流れ)	①新規取引や協力関係の構築を目的に浜松地域企業が保有する特徴的な技術を提案する展示商談会を開催 ②地域企業16社が日立建機㈱土浦工場内にて出展し、ブース展示及び説明を行うとともに、商品発注イメージ・加工対応力等の諸条件について話し合いを実施
出展企業	16社(浜松市14社・磐田市2社)
マッチング成果	2社 守秘義務契約を締結

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 経営支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

活用事例 崇和株式会社 〈浜松市西区〉

大手企業とのマッチングによる販路拡大

崇和株式会社は、自社で培った機械・溶接加工方法を活かし、インフラ設備や産業機械の部品製作等を社内一貫生産で行っています。新たな顧客開拓を検討していた際、財団から大手企業展示商談会の案内をいただき、参加することにしました。当社は、展示会出展経験がありませんでしたが、財団CDが当社を訪問し、商談会準備から展示方法など、当日のサポートを含め、その後の大手企業とのアプローチ方法について丁寧に説明していただきました。その結果、展示商談会では具体的な引合いをいただき、NDAを締結し、協業に向け打合せを続けています。また、展示会出展の効果を体験することができ、今後は県外展示会への出展も検討ていきたいと思います。



製造中核人材育成事業

■ 製造中核人材育成講座

製造現場のリーダーを育成する全24回の人材育成講座を開催します。現場見学を中心としたカリキュラムを通じて、輸送機器産業における基盤製造技術の知識が身に付きます。また、先進的な企業の見学を通じて新たな視点を習得し、自社改善へと繋げていきます。

対象者	将来会社の中核を担う工場長や次世代経営者、若手・中堅技術者		
定員	30名	受講料	50,000円 ※県西部地域以外の企業は100,000円
開催時期	2020年6月～11月 ※講座終了後、先進的企業の現場見学会を開催します(2021年1月予定)		
募集時期	2020年4月～5月中旬		

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

活用事例 フジオーゼックス株式会社 〈菊川市〉

現場見学を通した改善

フジオーゼックス株式会社は、輸送用機器のエンジンバルブ製造を主として、エンジン関連部品、自動車部品の製造・販売を行っています。

各種工程の知識取得や他社工場の取組を参考にしたいと考え、製造中核人材育成講座に参加しました。講座では輸送用機器に関する基礎的な知識習得はもとより、様々な業種・規模の工場見学を通して、各社の改善などへの取り組みを学ぶことができました。当社の製品検査工程においては、毎年数件の工程内流出が発生しておりましたが、見学先企業での取り組みを参考に、自社の仕組みと合わせて対策をしたところ、直近1年間では工程内流出が大幅に減少しており効果が上がっています。同講座は、自社内に留まっている分からない、様々な気付きとヒントを与えてくれました。



現場力向上人材育成事業

■ 小企業のための現場改善セミナー

■ 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール

製造現場の流れを改善し、生産リードタイム短縮や生産性向上など、現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成するためのセミナー及び講座を開催します。現場改善の基礎から、社内での展開の方法までを体系的に学ぶことができます。

対象者	経営者、現場リーダー、幹部候補者	定員	【セミナー】100名 【スクール】20名
受講料	【セミナー】無料 ※県西部地域以外の企業は1,000円 【スクール】10,000円 ※県西部地域以外の企業は20,000円		
開催時期	【セミナー】2020年7月予定 【スクール】2020年6月～7月予定 ※全5回		

■ デジタル中核人材育成スクール

デジタルエンジニアリングの基礎を学ぶスクールを開催します。(3D設計・IoT体験)

対象者	現場のデジタル化推進者	定員	各10名
受講料	25,000円 ※県西部地域以外の企業は50,000円		
開催時期	①2020年9月～10月予定 ②2020年11月～2021年1月予定 ※各全5回 ①②は同一内容となります		

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

活用事例 株式会社エコム 〈浜松市北区〉

デジタル化による生産性向上

株式会社エコムは、輸送用機器製造などの工場で使用する加熱設備の開発、設計、製造、メンテナンスを行っております。当社は、浜松地域イノベーション推進機構が開催した「現場改善セミナー」の聴講をきっかけに、専門家派遣制度を活用して、生産性向上を図るために改善を実施してきました。現在では、IoTを活用して、納品伝票が入力された時点で部品番号とパレット番号を工場のディスプレイに表示させる仕組みの構築や、入力ミスでの不具合対応に係る無駄削減のため、3D-CADを下流工程でも活用できるようデータ化し、製造現場で3Dデータを確認しながら作業を行っています。今後、3Dデータを使用したセールス、IoTを活用したリモートメンテナンス、タブレットを使用したメンテナンス作業の標準化など更なるデジタル化に取り組み、より一層の効率向上を目指します。



新規事業育成事業

■ 自社製品スクール

下請け型中小企業の自社製品開発を支援します。講師や参加者とのディスカッションを通じて、ゼロから製品コンセプトを生み出し、製品化を目指す実践講座です。スクール終了後も、財団のコーディネーターが製品化をフォローアップします。

対象者	中小企業経営者、商品企画の担当者 など		
定員	5名	受講料	50,000円 ※県西部地域以外の企業は100,000円
開催時期	第9期：2020年8月～2020年12月予定 全4回+フォローアップ2日+成果発表会(11月予定) ※スクール終了後、卒業生の工場見学を実施します(2021年1月予定)		

■ デザイン経営実践ワークショップ

優れた製品コンセプトやデザインを生み出すヒントを実践例から学ぶワークショップを開催します。

対象者	中小企業経営者、商品企画の担当者 など	定員	25名
受講料	2,500円 ※県西部地域以外の企業は5,000円	開催時期	2020年6月予定

■ ビジネスを大きくする人材育成講座

新規事業を育成、発展させるために必要な知識を、分析・戦略・発信といった様々な角度から習得し、市場のニーズに応じて製品・サービスを改良することで、売れるための仕組み作りを学びます。

対象者	中小企業経営者、管理者、企画担当者 など	定員	各20名
開催時期	①Tech Structureを学ぶワークショップ(仮):2020年8月予定 ②ヒット商品から学ぶ講座(仮):2020年10月予定 ③デジタルマーケティング基礎講座(仮):2021年2月予定		
受講料	①2,000円 ※県西部地域以外の企業は4,000円 ②③未定		

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

活用事例 川崎工業株式会社 〈菊川市〉

自社の技術を活かして、商品企画から開発まで

川崎工業株式会社は、1940年に自動車用ジャッキの製造からはじめり、その後、自動車エンジン部品の製造メーカーとして、アルミ鋳造・切削加工を中心に事業展開しています。アルミ部品で低燃費、軽量化という自動車産業のニーズを支えています。



今後、電気自動車(EV)が普及していくとエンジン部品が減少し、当社の製品の需要も減少するとの危機感を持ち、2018年に商品開発部門を立ち上げました。そして、新商品開発のプロセスを学ぶために浜松地域イノベーション推進機構の自社製品開発スクールに参加しました。スクールでは、ゼロから商品企画をし、試作まで行いました。

その経験を活かし、当社のコア技術の「ジャッキ」を災害時の人命救助に活用できるような商品開発を行い、レスキュージャッキ『AGETECO』を開発しました。この製品はメディアにも取り上げられ、次の商品開発の弾みになっています。

競争的資金等獲得支援事業

中小企業者が新技術開発や経営基盤強化を図るために手法として、国、県、市町の競争的資金を効果的に活用するため、当財団がワンストップでサポートします。

■ 補助金獲得支援

財団ホームページやメールマガジンにて、地域中小企業が活用できる2020年度の各種補助金を案内しています。各補助金の内容を詳しくお知りになりたい方は、お気軽に当財団までお問い合わせください。

■ サポイン活用促進セミナー(2020年8月予定) ※詳細はP14参照

- 競争的資金獲得に向けた個別相談は随時受け付けます。

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 技術支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

● 製造中核人材育成事業 ● 現場力向上人材育成事業 ● 新規事業育成事業 ● 競争的資金等獲得支援事業へのお申し込みについてはホームページをご覧ください。

フォトンバレーセンターの支援メニュー

光・電子技術が持つ無限の可能性は、ものづくりを変え、未来を拓く。

フォトンバレーセンターは、光・電子技術の世界的拠点形成を支援し、光・電子技術を活用した地域産業の活性化を目指します。

フォトンバレーセンター事業

フォトンバレーセンターは、2017年4月に浜松地域イノベーション推進機構の内部組織として発足いたしました。このフォトンバレーセンターの目的は、フォトニクス技術、電子技術、あるいは情報技術など、この地に集積している「知」を活用して、ものづくり、流通、農林水産業などあらゆる既存産業の高度化、生産性向上、横展開の推進を図るとともに、新規事業、新産業を育成してゆくことです。地域の大学、研究機関、異業種企業などの「知」を繋ぎ合わせて、世界的拠点としてのネットワークを構築し、地域企業のR&D及び人材開発の一翼をなうマネージャー、プランナーとして、皆様とともに地域の活性化に向けた役割を果たしていきます。



支援メニュー

ビジネスマッチング事業	①産業化コーディネーターによる企業訪問 ②参入促進セミナー
产学官金連携事業	①展示会出展支援 ②広報・情報発信 ③光を利用したものづくりセミナー ④健康医療分野のセミナー(はままつ医工連携拠点共同開催) ⑤ビジネスプロデュース力養成ラボ ⑥A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業
技術活用支援事業	①光・電子技術を活用した試作品開発や既存産業の高度化に対する補助金
世界的なネットワーク構築支援	①ドイツ・イエナ地域のクラスター等と連携 ②海外展示会出展支援・マッチング会開催
資金調達等支援	①クラスター産業分野支援貸付(フォトンバレー) フォトンバレープロジェクトの実施に必要な設備資金及び運転資金の貸付けを行います ②新規事業立地事業費補助金 光・電子技術関連産業(フォトンバレープロジェクト)に参画する企業、組合に対して、建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費を助成します

* フォトンバレーセンターでは、①②ともに光・電子技術関連産業に関する審査機関となります
* 事業の詳細はお問い合わせください



A-SAP(エイサップ)産学官金連携イノベーション推進事業

中小企業のイノベーション加速と業績拡大、及び地域全体の振興を目的とした、国内初の産学官金連携の支援スキームです。中小企業が直面する課題解決のためのプロジェクトチームを大学や研究支援機関、金融機関で結成し、それらの持つ優れた知識・技術・情報・設備を支援の要とした光・電子技術の活用により、技術的課題、経済的課題への早期解決に取り組んでいきます。



(産)中小企業・スタートアップ企業

直面している技術的、経済的課題について支援依頼申請を行うと、A-SAP調査チームによる課題の聞き取りや、技術専門家からのアドバイスを受けることが出来ます。採択されると、適切な技術基盤を有する機関が主となり、A-SAPプロジェクトチームが結成され、課題解決に向け6ヶ月～8ヶ月のプロジェクトを実行します。プロジェクト実行により得られた成果(試作品、技術、知識等)を活用・成長させ、事業化に結び付けていただきます。

(学)大学・研究機関

光・電子技術のエキスパートとして、プロジェクトチームを結成します。支援依頼内容の課題抽出を支援依頼企業と一緒に、プロジェクト計画を立て、課題解決を支援依頼企業と協同して実行します。プロジェクト実行により、実践的な研究成果を得られます。

(官)国・県・市

フォトンバレーセンターに、資金提供を行い、中小企業・スタートアップ企業における新産業の創出と既存産業の高度化を推進し、地域経済の活性化を促します。

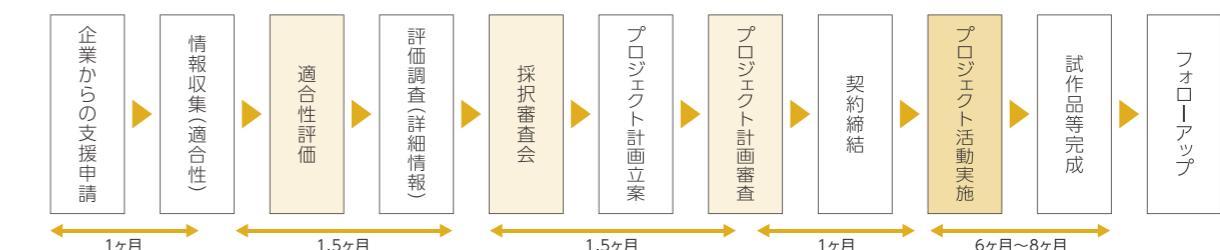
(金)金融機関

ビジネス・財務のエキスパートとして、プロジェクトチームに参加し、ビジネスプラン作成等の支援を実施します。プロジェクト実行により得られた情報を、融資等に役立てます。

フォトンバレーセンター

- 支援依頼内容を調査し、支援方法を検討します。
- A-SAPプロジェクトに採択した場合には、プロジェクトチームを結成し、チーム運営に必要な情報、資金等を提供します。
- 採択しなかった場合には、支援依頼内容に合わせた適切な支援策等を検討します。
- A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業についてKPIを用いて評価、改善します。

事業フロー



お問い合わせ先

フォトンバレーセンター(静岡大学浜松キャンパス内 イノベーション社会連携推進機構204)
☎053-471-2111 <https://www.hai.or.jp/pvc/>

次世代自動車センター浜松の支援メニュー

地域中小企業の「固有技術」を活かし、次世代に向けた自動車産業の活性化を目指します。

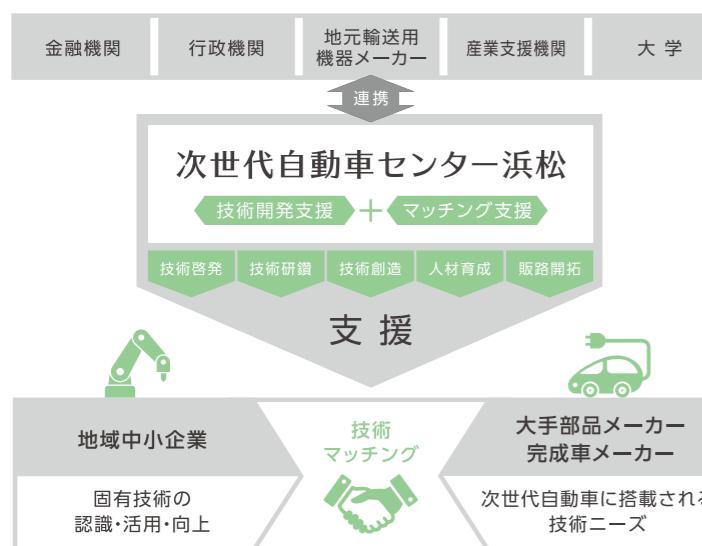
次世代自動車センターは、静岡県の輸送用機器関連 中小企業が自社の「固有技術」を活かし、次世代自動車の部品を製造することで、新たなビジネス展開ができるように、開発・設計から製造・販売までをワンストップで支援します。

次世代自動車センター事業

近年加速する自動車産業の技術革新(CASE:コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化)に伴うビジネス環境の変化に対応するため、静岡県の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する「次世代自動車センター」を平成30年4月に設置しました。

同センターは地域中小企業を中心とした会員制組織(341社:2020年2月現在)とし、地元完成車メーカー及び地域支援機関との連携により、産学官金一体で次世代技術への転換や新技術開発等の支援に取り組んでいきます。

【次世代自動車センター浜松の概要】



加速する自動車産業の技術革新

CASE

Connected コネクテッド つながる化
インターネット通信技術を搭載した車で、ネットワークを介して集積・分析することで、様々な情報サービスを受けることができる自動車

Autonomous

自動運転化
車両間のセンサー、レーダー、GPS、カメラなどからの情報だけで周囲の交通状況を把握して、人間の手を介さずに出発地から目的地まで走行できる自動車

Shared & Service

シェアリング&サービス 共有化
車を所有するのではなく、必要な時だけ利用するという考え方

Electric

電動化
ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車などのモーターを駆動減とした自動車

■次世代自動車に搭載される部品を開発するための、5つの支援策

支援策		支援内容
1 技術啓発	技術トレンドなどの情報発信支援	情報発信、相談対応、調査研究、講演会 など
2 技術研鑽	技術レベルの把握などによる実体験づくり支援	会員企業訪問、現場見学会、講座 など
3 技術創造	新たな部品と高度化される部品の開発支援	技術セミナー、試作実習、研究・実験、ベンチマーク活動 など
4 人材育成	固有技術の伝承と展開できる人材の育成支援	固有技術調査・分析、講座 など
5 販路開拓	次世代自動車に搭載される部品の大手メーカーに対する商談機会支援	技術マッチング商談会、会員企業交流会 など

■企業訪問による次世代部品の開発支援

完成車メーカー及び大手部品メーカーの次世代自動車を開発する上での技術ニーズと中小部品メーカーの固有技術をマッチングします。



■次世代自動車センター浜松 2020年度 事業計画 (予定)

※事業の詳細は決定次第随時HPで更新します。

25の支援メニュー	2020年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月
1 次世代自動車センター浜松フォーラム (中止)												
2 技術動向講演会									●			
3 会員企業アンケート調査及び報告会				→	●					●	→	
4 海外イベント視察報告会					● 北京				● パリ		● CES	
5 固有技術の探索活動説明会	●							●				
6 モデルベース開発基礎講座 (全2回)							●	→				
7 モータ及び電気自動車の基礎講座 (全4回)							●	→				
8 試験装置メーカーによる技術動向講演会									●			
9 EV(二輪車)の車両分解活動報告会		●										
10 EV(二輪車)の車両カットモデル製作	●	→										
11 次世代自動車関連部品の製造現場見学会		●						●				
12 X線CT装置基礎講座 (全3回)				●	→							
13 振動騒音測定・分析の技術習得講座									●			
14 新技術の適用評価に関する研究・実験	●											
15 次世代自動車部品の共同開発プロジェクト	●											
16 部品ベンチマーク活動に基づいた次世代自動車関連部品の試作実習	●											
17 部品ベンチマーク活動調査結果報告会									●			
18 固有技術探索基礎講座 (全2回)		●	→	●	●	→	●	●	→	●	→	●
19 企業訪問 (固有技術探索のフォロー)	●											
20 構造部材による軽量化基礎講座 (全4回)				●	→							
21 自動車工学基礎講座 (全4回)					●	→						
22 企業訪問 (技術マッチング)	●											
23 企業訪問 (先行開発企業)	●											
24 先行開発企業報告会								●				
25 会員企業間交流会										●		

■「次世代自動車センター浜松」会員制度について

まずは、次世代自動車センター浜松へ会員としてご登録ください。技術開発から人材育成、販路開拓まで、センターが幅広くサポートします。

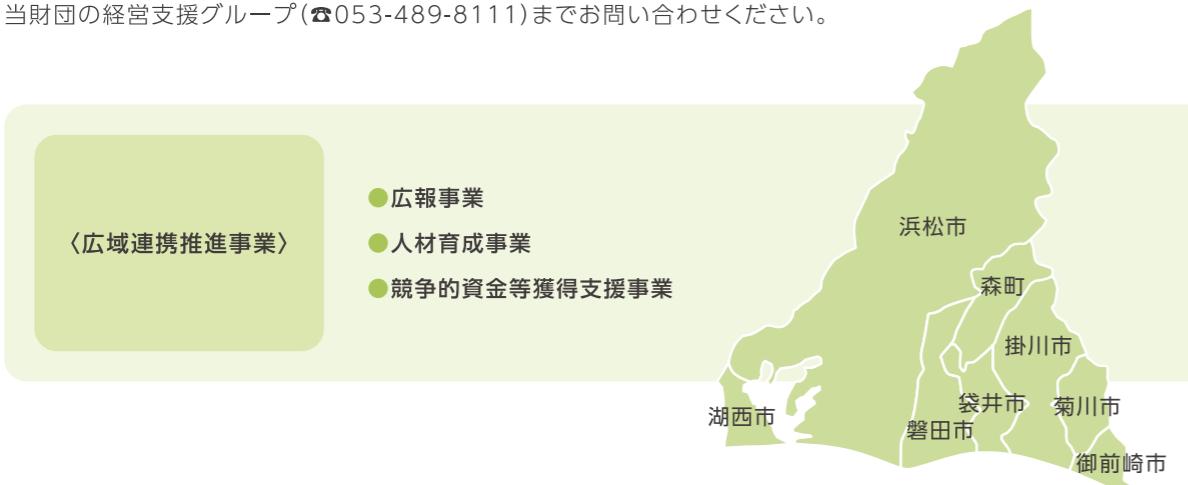
対象者	①静岡県に製造拠点等がある中小企業、または自動車関連産業に参入を希望する中小企業 ②地域外であっても、県内完成車メーカーと取引のある自動車関連企業 ③当センターの事業に賛同する企業
年会費	年額12,000円(税込) ※10月入会の場合は、会費が6,000円(税込)となります ※一部事業の実施に伴い、別途負担金を徴収する場合がございます
入会方法	HPより必要書類をダウンロードし、お申し込みください https://www.hai.or.jp/evc/

お問い合わせ先 次世代自動車センター浜松(公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構内)
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/evc/>

静岡県西部市町の支援メニュー



静岡県西部の行政機関(浜松市・磐田市・掛川市・袋井市・湖西市・御前崎市・菊川市・森町)では、地域産業振興のための中小企業者を支援する施策メニューを多数ご用意しております。今回、地域の製造中小企業者に役立つ支援施策の一部をご紹介します。施策メニューの詳細やその他の支援施策については、各市町の窓口までお問い合わせください。また、(公財)浜松地域イノベーション推進機構では、各市町との広域連携推進事業を展開しています。広域連携における各事業に関する相談等は、当財団の経営支援グループ(☎053-489-8111)までお問い合わせください。



磐田市

■産業展示会等出展支援事業費補助金

対象者	①磐田市内に本社・工場・支店のある中小企業者、又は中小企業者が組織する団体 ②磐田市内で耕作・水揚等を行う農林漁業者又は団体 ①②いずれも市税を滞納していないことが条件となります
対象事業	取引先や事業提携先の開拓、受注機会の確保を目的に製品や商品等を紹介する展示会・見本市で、2020年度中に市外で開催されるものが対象となります ※1年度あたり1回のご利用が可能
支援内容	〈対象経費〉小間料、小間装飾料、運送費、旅費 他 〈補助額〉国内:上限10万円、国外:上限30万円 補助率は補助対象経費の1/3以内
募集期間	2020年4月1日(水)~
応募・利用方法	出展される2週間前までに必要書類をご提出ください 先着順で随時受け付けます。ただし、予算がなくなり次第終了となります ※要件や手続きの詳細については、下記までお問い合わせください

■他のサポートメニュー

●いわたホッとライン

メール配信サービスによる事業者向けの情報提供。
磐田市ホームページより『いわたホッとライン』で検索。

●磐田版おせっかい事業

支援機関の専門家などと事業者の皆さまの課題解決に向けたサポート。

お問い合わせ先

磐田市 産業政策課
☎0538-37-4904 <https://www.city.iwata.shizuoka.jp/>

湖西市

■湖西市中小企業販路拡大出展事業費補助金

対象者	市内に主たる事業所を有する中小企業者または中小企業者が組織する団体(市税等を滞納していないことが条件)
対象事業	展示会・見本市等に新製品等を出展する事業(1年度あたり1回) 【前期】2020年4月1日(水)~2020年9月30日(水)に開催される展示会等 【後期】2020年10月1日(木)~2021年3月28日(日)に開催される展示会等
支援内容	〈対象経費〉出展にかかる小間料、小間装飾料など 〈補助額〉補助限度額は開催地により10万円・20万円・25万円(詳しくはお問い合わせください) 補助率は補助対象経費の1/2以内
募集期間	【前期】2020年4月1日(水)~2020年9月7日(月) 【後期】2020年8月3日(月)~2021年3月1日(月)
応募・利用方法	開催日の20日前までに必要書類を1部提出 ※詳しくは市ホームページをご覧ください ※先着順で随時受け付けます。ただし、予算がなくなり次第終了となります

お問い合わせ先

湖西市 産業振興課
☎053-576-1215 <https://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

袋井市

■袋井市産学官情報メール配信サービス

静岡理工科大学、袋井商工会議所、浅羽町商工会、袋井市の事業をはじめ、産業支援機関の各種事業情報を週2回メール配信します。

登録方法	利用規約に同意のうえ、ホームページ掲載の「登録申請用紙」を袋井市役所産業政策課に提出
お問い合わせ先	袋井市産学官連携推進協議会 (事務局:袋井市産業政策課産業労政室) ☎0538-44-3136(直通) E-mail:sangyou@city.fukuroi.shizuoka.jp https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kurashi/jigyo_kogyo_kigoyuchi/sangaku/index.html

掛川市

■掛川市小口資金融資利子補給制度

支援内容	事業者の小口資金融資に対する利子補給
対象者	以下の条件を満たす小規模事業者 ①掛川市内に店舗、工場、事業所を有し、3ヶ月以上継続して同一事業を営んでいること ②常時使用する従業員が30人(卸売業、小売業、サービス業は10人)以下の事業者であること ③市税に滞納がないこと
融資限度額	1企業700万円以内
資金使途	設備資金又は運転資金
融資期間	5年(60ヶ月)以内
融資利率	年1.8%(掛川市が0.28%利子補給した後の利率)
申込期間	随時
申込先	掛川市内に店舗がある銀行及び信用金庫、掛川商工会議所、掛川みなみ商工会

お問い合わせ先

掛川市 産業労働政策課
☎0537-21-1125 <http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/>



■御前崎市企業誘致並びに市内企業育成資金利子補給制度

対象者	御前崎市が誘致する企業及び市内に事業所を有する原則として商工会員の企業
対象事業	・実際に設備したもの ・市が誘致する企業:1億円以上の設備(土地取得、敷地造成、自動車は除外) ・市内に事業所を有する企業:300万円以上の設備 (土地取得、敷地造成、自動車は除外。その他幹事会で認めたものはこの限りではない) ・2年以上の借入 ・その他実際に設備したものの支払に充てるために、設備以降に融資を受けたものも融資対象とする
支援内容	〈対象限度額〉70億円以内 〈利子補給率〉対象となった融資額の利子の4/10以内 ただし、御前崎市内に本店又は支店を有する民間金融機関からの融資の場合は、5/10以内とする。又は、借入れ資金の金利が7%を超える場合は、下記計算式によって算出された額の4/10以内とする (なお、今後の金利状況によっては変更あり) ※計算式…支払利息÷借入れ資金の金利×7
募集期間	2020年度の募集期間は未定
応募・利用方法	必要書類を御前崎市商工観光課企業港湾室まで提出 ※事前に御前崎市商工観光課企業港湾室までご相談ください

お問い合わせ先

御前崎市 商工観光課 企業港湾室
☎0537-85-1164 <https://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/>



■菊川市小口資金融資利子補給制度

対象者	①従業員数が30人(商業・サービス業を主たる事業とする事業者は10人)以下 ②市内で6ヶ月以上同一事業を営む小規模事業者 ③本制度の申込日以前において納期の到来した市税等を完納している者
対象事業	利子補給の対象となる融資の条件 〈資金使途〉事業資金(設備資金及び運転資金) 〈融資限度額〉700万円以内 〈融資期間〉5年以内 〈融資利率〉市長の定める率
支援内容	小口の事業資金を融資した金融機関に、利子補給金を交付する
募集期間	随時
応募・利用方法	県内各金融機関にてご相談ください

お問い合わせ先

菊川市 建設経済部 商工観光課
☎0537-35-0936 <http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/>



■森町小口資金利子補給制度

対象者	①申込日現在、引き続き6ヶ月以上同一事業を森町内で営んでいるもの ②常用従業員が30人(商業又はサービス業は10人)以下のもの ③事業税、県民税及び町税について、本制度の申込日以前において納期が到来した税額を完納しているもの ④信用保証協会の信用保証対象資格があるもの ⑤本制度に係る融資の債務がないもの
支援内容	〈資金使途〉事業資金(設備・運転資金) 〈融資限度額〉1中小企業者につき700万円以下 〈融資期間〉5年以内 〈融資利率〉年1.8%(町が0.28%を利子補給した後の利率) 〈返済方法〉元金均等割賦償還(据置3ヶ月以内) 〈連帯保証人及び担保〉信用保証協会の定めによる 〈信用保証料〉信用保証協会の定めによる
募集期間	随時
応募・利用方法	県内各金融機関にてご相談ください

お問い合わせ先

森町役場 産業課
☎0538-85-6319 <https://www.town.morimachi.shizuoka.jp/>



産学連携の支援メニュー

産学連携支援

浜松地域イノベーション推進機構では、地域の大学等と連携し、中小企業の研究開発や共同開発等に関する課題や問題に対して関連機関の紹介等、課題解決に向けたバックアップ支援を実施します。

【産学連携支援】

(ワンストップ総合窓口) 浜松地域イノベーション推進機構

静岡大学 情報学・工学の教育・研究	静岡理工科大学 理工学・情報学の教育・研究	静岡産業大学 技術科学の教育・研究
浜松医科大学 医学・看護学の教育・研究	静岡文化芸術大学 文化政策学・デザイン学の教育・研究	浜松テクノカレッジ 職業訓練、若手技術者育成
光産業創成大学院大学 光産業創成の教育・研究	豊橋技術科学大学 経営学・情報学・スポーツと健康学の教育・研究	ポリテクカレッジ浜松 実践技術者育成、職業能力開発

〈地域の主な大学・人材育成機関〉

機関名	機能	連絡先	住所
国立大学法人静岡大学	研究開発、共同研究	053-478-1702	浜松市中区城北3-5-1
国立大学法人浜松医科大学		053-435-2438	浜松市東区半田山1-20-1
学校法人光産業創成大学院大学		053-484-2501	浜松市西区吳松町1955-1
学校法人静岡理工科大学		0538-45-0111	袋井市豊沢2200-2
公立大学法人静岡文化芸術大学		053-457-6105	浜松市中区中央2-1-1
国立大学法人豊橋技術科学大学		0532-44-6569	豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
静岡産業大学		0538-37-0191	磐田市大原1572-1
静岡県立浜松技術専門校(浜松テクノカレッジ)	人材育成	053-462-5602	浜松市東区小池町2444-1
東海職業能力開発大学校浜松校(ポリテクカレッジ浜松)		053-441-4444	浜松市南区法枝町693

◎産学連携に関して相談先が分からない場合は、各機関を随時ご紹介します。

また、地域の産業支援機関をはじめ、行政、金融機関に関するご相談にも当財団がワンストップ窓口で対応します。

お問い合わせ先

公益財団法人浜松地イノベーション推進機構 経営支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp>

活用事例 静岡大学・学生団体「静岡ビジネスクラブ」、浜松地元地域企業20社、静岡銀行、財団

静大生協インターンシップマッチングフェアの開催

静岡大学・学生団体「静岡ビジネスクラブ」が企画・運営した、静大の学生(浜松キャンパス工学部・情報学部)を対象にした地元中小企業冬季インターンシップを紹介するマッチングフェアを2019年10月に開催しました。地元中小企業の魅力を学生目線で多くの学生に伝えるために、マッチングフェアは学生が中心となり実施しました。このフェアの開催においては、地方創生の取組みとして静岡銀行及び財団が協力して地元中小企業を紹介し、20社の地元企業が参加しました。フェア実施後に多くの学生が各企業インターンシップに申込することとなり、大学生と接点が少ない地元中小企業にとって貴重な機会となりました。



経済産業省の支援メニュー



戦略的基盤技術高度化支援事業

経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」は、中小ものづくり高度化法に定める「特定ものづくり基盤技術高度化指針」に記載された内容に関する研究開発等で、特に中小企業・小規模事業者が大学、公設試等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発等及び販路開拓への取り組みを一貫して支援します。

対象者	主たる研究等実施機関に位置付けられた中小企業・小規模事業者を含む、事業管理機関、総括研究代表者(PL)、副総括研究代表者(SL)、アドバイザーによって構成される共同体
対象事業	主たる研究等実施機関に位置付けられた中小企業・小規模事業者が大学・公設試などの研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い、特定ものづくり基盤技術を用いた研究開発、試作品開発及び販路開拓への取組など 特定ものづくり基盤技術 1.デザイン開発に係る技術 2.情報処理に係る技術 3.精密加工に係る技術 4.製造環境に係る技術 5.接合・実装に係る技術 6.立体造形に係る技術 7.表面処理に係る技術 8.機械制御に係る技術 9.複合・新機能材料に係る技術 10.材料製造プロセスに係る技術 11.バイオに係る技術 12.測定計測に係る技術
支援内容	・補助上限額:補助事業あたり単年度4,500万円以下、2年度の合計で7,500万円以下、 3年度の合計で9,750万円以下 ※2年度目以降の補助金額は、原則として、上記上限額の範囲であって、かつ初年度に認められた金額の範囲で補助金の交付申請を行うことができる ※定額補助率となる者については補助金総額の1/3以下であること ・補助上限額:2/3以内 ※大学・公設試等の場合は定額(ただし大学公設試等が事業管理機関として共同体に参加している場合に限る) ※同一機関が複数の補助率を適用することはできない
募集期間	2020年1月31日(金)～4月24日(金) 17:00必着
応募・利用方法	公募要領等は関東経済産業局のホームページ、または中小企業庁のホームページに掲載しています
お問い合わせ先	関東経済産業局 産業部 製造産業課 ☎048-600-0307 https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/index.html

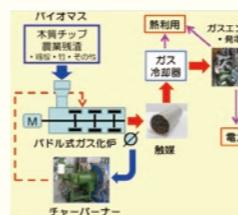
活用事例 静岡製機株式会社 〈袋井市〉

農林業のニーズに応える小型・低コストバイオマスガス化発電システムの開発

静岡製機株式会社は、穀物乾燥機や農産物低温貯蔵庫などの農産物関連機器、業務用熱機器、環境関連機器の製造および販売の事業を展開しています。

平成28～30年度サポイン事業では、静岡製機が中心となり、小型・低コストバイオマスガス化発電システムのためのパドル式ガス化炉、バイオマスガス化発電システム、タール改質触媒等を開発しました。財団にはサポイン事業の事業管理機関として、進捗管理や経理書類の確認等について支援をいただきました。

現在、バイオマス発電では、5,000kW以上の大型プラントが9割以上を占めており、その結果、隣接する地域での用材の取り合いや海外資源への依存の問題が生じています。そこで、この問題を解決する200kWの小型多種バイオマスガス化発電システムを実用化し、再生可能エネルギーによる地域活性化を目指しています。今後、実証機のフィールドテストを経て、2022年度に事業化を計画しています。



■ サポイン活用促進セミナー

中小企業・小規模事業者が大学等の研究機関と連携して、新技術の研究開発や販路開拓を行い、事業化を目指すために有効な「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」獲得に向けたセミナーを開催します。

対象者	戦略的基盤技術高度化支援事業の獲得を目指す県西部地域の中小企業者 など
参加費	無料 ※県西部地域以外の企業は1,000円

●競争的資金獲得に向けた個別相談は随时受け付けます。

お問い合わせ先 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 技術支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

静岡県の支援メニュー



経営革新計画促進事業費補助金

経営革新計画承認企業に対して、経営革新計画の実現を支援するために、新商品開発・新技術・新役務開発、販路開拓及び生産性向上への取組を助成する制度を設けています。

対象者	中小企業等経営強化法に基づき県が承認した「経営革新計画」を実施する中小企業者及び組合等
対象事業	経営革新計画に記載され、かつ経営革新計画の期間内に実施される事業 ※設備投資不可
支援内容	〈補助額等〉①新商品・新技術・新役務開発 上限額:500万円 補助率:1/2 対象経費:謝金、旅費、研究開発事業費、庁費及び委託費 ②販路開拓 上限額:200万円 補助率:1/2 対象経費:謝金、旅費、庁費及び委託費 ③生産性向上 上限額:150万円 補助率:1/2 対象経費:謝金、旅費、研究開発事業費、庁費、ITツール導入費及び委託費
募集期間	■第1回目募集 〈新商品・新技術・新役務開発〉 2020年4月1日(水)～4月17日(金) 〈販路開拓、生産性向上〉 2020年4月23日(木)～5月15日(金) ■第2回目募集 夏以降に実施予定
応募・利用方法	申請書類、募集案内等は、静岡県のホームページに掲載しています

お問い合わせ先

静岡県 経済産業部 商工業局 経営支援課
☎054-221-2526 <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-550/hojyojigyou.html>
公益財団法人静岡県産業振興財団 新事業支援グループ 経営革新支援チーム
☎054-273-4432

新成長産業戦略的育成事業助成事業

成長分野(次世代自動車、新エネルギー、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境技術関連、CNF関連)をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品への実用化を目指した研究開発等へ助成します。

対象者	①②県内の中小企業、③県内の中小企業・中堅企業
対象事業 支援内容	①産学官連携研究開発助成 成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を大学、県内公設試験研究機関と連携して行う事業 〈補助額〉単年度:上限1,000万円 2年間合計:上限2,000万円 助成率:2/3以内 助成期間:2年以内 ②中小企業研究開発助成 成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を行う事業 〈補助額〉単年度:上限500万円 助成率:2/3以内 助成期間:1年以内 ③事業化推進助成 成長分野に関する研究成果を活用し、事業化に向けたさらなる研究開発などの取組を行う事業(成長分野に限定) ※事業終了後1年以内に対象製品の販売が見込めるもの 〈補助額〉単年度:上限2,000万円 2年間合計:上限3,000万円 助成率:2/3以内 助成期間:2年以内
募集期間	2020年4月上旬～5月中旬予定
応募・利用方法	補助事業の内容や、申請書類、交付要綱等は、(公財)静岡県産業振興財団のホームページに掲載しています

お問い合わせ先

応募・問い合わせ先／(公財)静岡県産業振興財団 研究開発支援チーム
☎054-254-4512 <http://shizuoka-shinseicho.jp/>
静岡県 経済産業部 産業革新局 新産業集積課 ☎054-221-3622



中小企業基盤整備機構 の支援メニュー

(中小機構 関東)窓口相談

■ 窓口相談(無料)

中小機構関東本部(東京都港区虎ノ門)の相談窓口には各分野の専門家を配置しており、人事・財務・法律・知的財産権など、幅広い分野の経営課題について対面で相談いただけます。

開設時間	月曜から金曜(祝祭日、年末年始は除く)9:00~16:40
相談時間	1回1時間程度で、何度も継続してご利用いただけます
相談料	無料(事前予約制)

お問い合わせ先 独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 企業支援課 ☎03-5470-1620 https://www.smrj.go.jp/regional_hq/kanto/sme/index.html

ハンズオン支援(専門家の派遣)

■ 専門家継続派遣事業

専門家を長期・計画的に継続して派遣することによって、中小企業の抱える総合的な経営課題の解決を図り、その成長・発展を支援します。

派遣期間	6ヶ月~10ヶ月以内で、月平均2~3回程度
負担費用	専門家1人・1日あたり17,500円 (注)ご利用にあたっては審査を実施しており、お申込みいただいた場合に添えない場合がございます

お問い合わせ先 独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 企業支援課 [お申込・ご相談] ☎03-5470-1627
(事業紹介ページ) <https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/hands-on/index.html>

インキュベーション事業(創業・新事業開発支援)

■ HI-Cube(浜松イノベーションキューブ)

中小機構では、全国で29施設でビジネスインキュベーション事業(BI事業)を運営し、起業を目指す個人やベンチャー企業、新事業展開に取り組む中小企業を支援しています。

浜松では、静岡県、浜松市と連携して、浜松市中区和地山にBI施設(HI-Cube)を構え、事業活動のためのオフィス(研究室)・実験室を賃貸で提供するとともに、施設常駐のインキュベーションマネージャー(IM)が入居者の支援を行っています。

〈HI-Cubeの概要〉

- 所在地:浜松市中区和地山3-1-7(静岡大学浜松キャンパス近く)
- 居室面積:25m²クラス、30m²クラス、50m²クラス、60m²クラス 計47室
- 月額賃料:1m²あたり3,200円(税抜)
※中小企業者、ベンチャー企業者などには、浜松市の賃料補助あり(要申請)
- 共用スペース:商談室、会議室、交流スペースなど
- 契約期間:当初5年以内
- 支援体制:経営全般や技術などに精通するIMが常駐



お問い合わせ先 独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 浜松イノベーションキューブ ☎053-478-0141 <https://www.smrj.go.jp/incubation/hi-cube/index.html>



日本貿易振興機構(JETRO) の支援メニュー

貿易投資相談

世界各地から収集した豊富な情報とノウハウを活用し、貿易・投資に関するさまざまなご相談に応じています。

ご相談事例	・輸出入手続、契約方法について知りたい ・クレーム、契約解消などトラブル対処法を知りたい ・これから輸出入取引を始めたいが、何から始めればよいか ・海外の販売代理店やパートナー候補を見つけたい
費用	無料 ※一部有料のサービスがあります

詳細はこちら▶ <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/hamamatsu/advice.html>



各種講座・セミナー開催

■ 海外ビジネス支援のための各種講座・セミナー

ご要望の多い国／地域、産業に特化した講座やセミナーを定期的に開催しています。

※各種講座・セミナー情報は、下記のジェトロ浜松HP(イベント情報欄)にて随時更新します。また、メールマガジン(原則第2、4水曜日)にご登録いただけますと、定期的にジェトロや関係機関のイベント情報を入手できます。

参加資格	どなたでもご参加いただけます ※セミナー・講座によっては、中小企業・小規模事業者の参加を優先する場合があります
参加費	無料 ※一部有料のセミナー・講座があります

ジェトロ浜松HP▶ <https://www.jetro.go.jp/hamamatsu/>

ジェトロ静岡・ジェトロ浜松のメールマガジン▶ <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/shizuoka/mail.html>



海外販路開拓支援

■ 海外見本市出展支援

ジェトロが主催・参加する海外見本市・展示会のジャパンブース(ジャパンパビリオン)へのご出展をサポートします(出展企業・団体を公募します)。見本市等への出展は、短期間に多くのバイヤーと接触することができ、効率的に商談を進めるチャンスです。出展料は展示会によって異なりますので、公募時に出展案内にてご案内します。公募情報は下記のジェトロHPにて随時更新します。

詳細はこちら▶ <https://www.jetro.go.jp/services/tradefair/>

■ 海外バイヤー招へいによる国内商談会

様々な分野で海外から有力なバイヤーや代理店候補を招へいし、商談会を開催します。商談準備から商談後のフォローアップまで、個別支援も行います。

ジェトロ 国内商談会の 特長	● 海外有望市場の有力なバイヤーと国内で個別商談が可能 ● 参加費無料、通訳はジェトロが手配 ● 自社製品に対する海外バイヤーの反応や評価を探る絶好の機会 ● 商談の事前準備も個別相談などでサポート
----------------------	--

詳細はこちら▶ https://www.jetro.go.jp/services/export_guide/tradefair.html



お問い合わせ先 ジェトロ浜松 ☎053-450-1021 E-mail:HMM@jetro.go.jp

静岡県中小企業団体中央会 の支援メニュー



組合・連携グループ支援

■組合設立支援・組合運営支援

静岡県中小企業団体中央会(法律に基づく中小企業組合の専門指導機関)では、複数の中小企業が集まり「組合」を設立し、組合の共同事業を利用することで、共通の経営課題を克服するなど中小企業・小規模事業者の成長・発展を支援しております。

組合設立から運営支援の他、金融や人材確保・育成、経営革新など、中小企業の経営課題について幅広くご相談に対応いたします。

■連携グループに対する支援

組合以外にも、商工業者を始め、介護事業者や農林水産漁業者など業種を問わず、同業種・異業種の事業者で組織される連携グループに対しても、グループが抱える様々な課題解決(試作開発、販路開拓、調査研究など)に向けて、組合と同様に中央会の補助事業がご利用いただけます。

令和元年度補正 ものづくり・商業・サービス補助金 (一般型、グローバル展開型、ビジネスモデル構築型)

中小企業・小規模事業者等今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更(働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等)等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援します。

対象者	中小企業者・小規模事業者、事業協同組合等、特定非営利法人
支援内容	<p>【一般型】 〈補助率〉中小企業1/2、小規模事業者2/3 〈補助額〉100万円～1,000万円 〈補助対象〉単価50万円(税抜)以上の設備投資(機械装置・システム構築費)、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウドサービス利用費、原材料費、外注費、知的財産権等関連経費 〈補助要件〉以下を満たす3～5年の事業計画の策定及び実行 ・付加価値額+3%以上／年 ・給与支給総額+1.5%以上／年 ・事業場内最低賃金>地域別最低賃金+30円</p> <p>※交付決定日から10ヶ月以内(ただし、採択発表日から12ヶ月後の日まで)の事業実施期間に、発注・納入・検収・支払等のすべての事業の手続きがこの期間内に完了する事業</p>
募集期間	3月末の1次締切は、採択発表を4月末目途予定 その後も申請受付を継続し、令和2年度内には令和2年5月(2次)、8月(3次)、11月(4次)、令和3年2月(5次)に締切を設け、それまでに申請のあった分を審査し、随時、採択発表予定(なお予定は変更する場合があります)
申請	電子申請システムでのみ受け付けます 入力については、電子申請システム操作マニュアル(3月24日(火)に公開予定)に従って作業してください 本補助金の申請にはGビズIDプライムアカウントの取得が必要です
応募・利用方法	詳しくは静岡県中小企業団体中央会 西部事務所(下記)までお問い合わせください 公募要領等は静岡県中央会のホームページ(http://www.siz-sba.or.jp/)に掲載しています

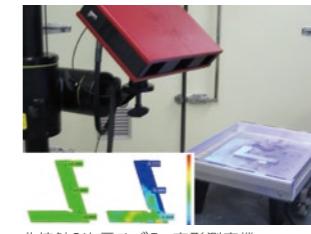
お問い合わせ先

静岡県中小企業団体中央会 西部事務所
☎053-453-2195 <http://www.siz-sba.or.jp/>



静岡県工業技術研究所 の支援メニュー

静岡市に工業技術研究所、沼津、富士、浜松に工業技術支援センターを配置し、県内産業界を一体的に技術支援できる体制を取っています。また、研究所及び各センターに海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設しています。地域産業に最も近い技術支援機関として企業の皆様の技術開発や技術向上を支援します。



非接触3次元ひずみ・変形測定機



電界放射型走査電子顕微鏡

技術相談支援

・技術に関する一般的な相談対応から現地指導、外部研究機関の紹介を行い、課題解決へ導きます(無料)。

試験・分析支援

・研究所の職員が、企業からの依頼により製品や原材料などの各種試験、分析・測定を行います(有料)。

・企業が直接製品試験を実施するための機器・設備を研究所・センターに設置しています(有料)。

※主な保有機器:車載機用EMC試験機器、3Dプリンター、電界放射型電子顕微鏡システム、X線残留応力測定装置、計測用X線CTなど

研究・開発支援

・研究所の持つ技術や設備を活用し、企業と共同で研究開発を行います。

・企業が抱える課題を、研究所が企業から委託を受け、取り組みます(有料)。

・公募型研究開発資金獲得のための産学官共同研究体制の構築や申請の支援を行います。

人材育成支援

・新しい技術の紹介や企業ニーズに対応した講習会や研究会を行います。

・企業の方や学生などを研究生として受け入れることで、民間企業などの人材育成、学生の就業体験、試験研究機関の研究業務活性化を図ります。

・情報誌やメールマガジンで、工業技術研究所で取り組む研究課題や新規導入機器を紹介します。

お問い合わせ先	静岡県工業技術研究所 ☎054-278-3028 ■支援内容【特化技術】食品・環境エネルギー、生活製品 【基盤技術】材料、機械、電子
	浜松工業技術支援センター ☎053-428-4152 ■支援内容【特化技術】光、レーザー 【基盤技術】材料(繊維を含む)、機械、電子
	沼津工業技術支援センター ☎055-925-1100 ■支援内容【特化技術】バイオテクノロジー 【基盤技術】機械、電子
	富士工業技術支援センター ☎0545-35-5190 ■支援内容【特化技術】製紙、CNF(セルロースナノファイバー) 【基盤技術】機械、電子

<https://www.iri.pref.shizuoka.jp/>